

茨戸アカシアハイツにおける今後の復興への取り組みについて

社会福祉法人 札幌恵友会
理事長 宮坂 勝文

この度は、茨戸アカシアハイツ入所者の新型コロナウイルスの感染が拡大し、深刻な事態になりましたことにより、関係者の皆様には多大なご不安、ご心配をお掛けしていることをお詫び申し上げますとともに、改めまして、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

また、入所者の皆様におかれましては、必要な介護サービスを受けることができなかつたり、不自由な思いをさせてしまい、ご家族の皆様にも大変なご心配をおかけしましたことにつきまして、重ねてお詫び申し上げます。

茨戸アカシアハイツにつきましては、札幌市が中心となり、感染症の専門家、医師、看護師、施設職員で構成される現地対策本部が設置され、札幌恵友会と一体となって、入所者が安全で安心できる生活を送れるよう、感染拡大の防止に努めてまいりました。

こうした中、最初の陽性者の確認がなされてからおよそ40日が経過し、収束に向けた兆しがようやく見えてきたと感じております。

そこで、札幌恵友会では、札幌市の現地対策本部のご協力もいただきながら、茨戸アカシアハイツ復興に向けての計画を取りまとめましたので、お知らせいたします。

1 復興の時期

感染された全ての方の陰性化が確認され、施設として再出発する復興の時期については、2020年7月上旬を目標とします。

なお、感染拡大の防止に最大限努めてまいりますが、万が一不測の事態が生じた場合には、必要な見直しを行います。

2 復興後の施設運営

約80名の入所者の方が再びアカシアハイツにて生活していただき、必要な健康観察を継続しながら、感染発生前と同様の介護サービス・医療を提供いたします。

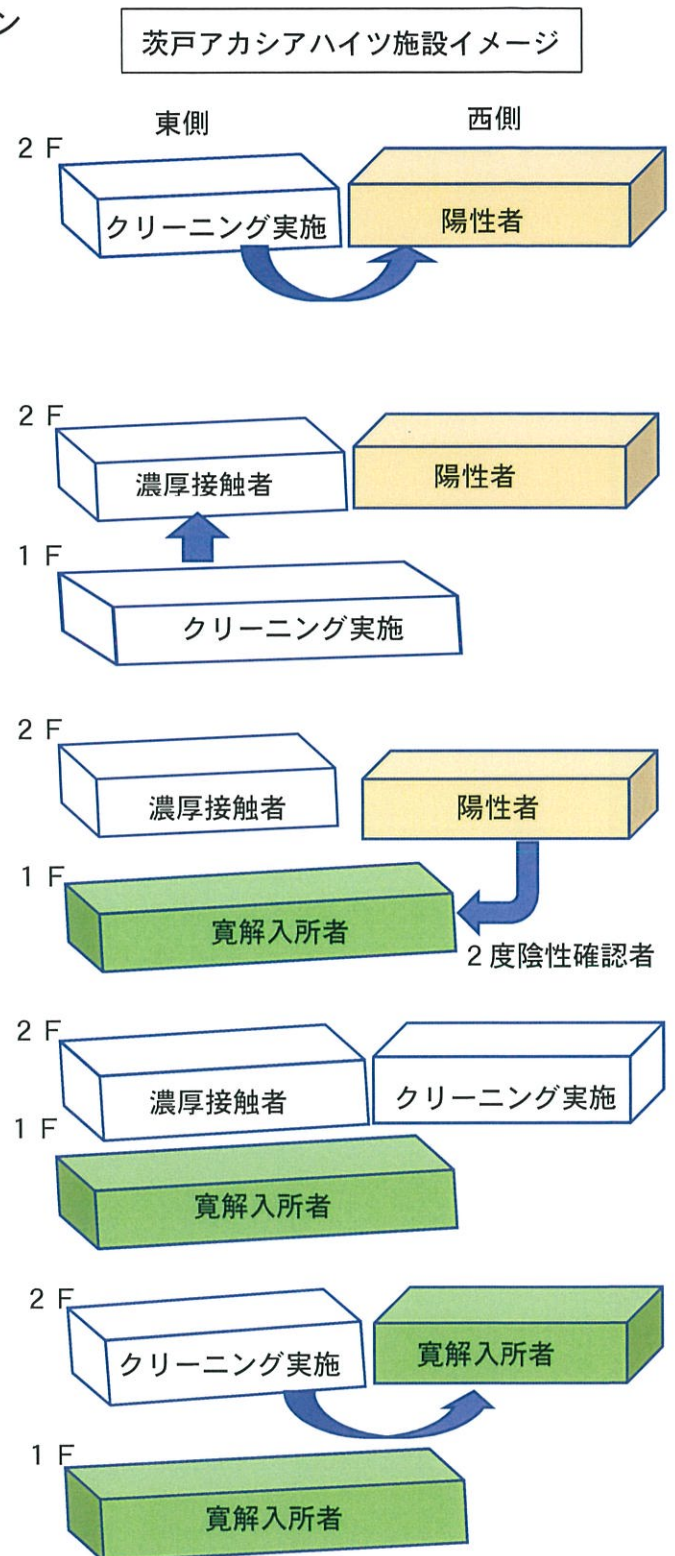
なお、ご本人・ご家族の方が他の福祉施設等への転出を希望される場合には、ご相談の上、真摯にご対応させていただきます。

3 復興の手順

〔  入所者の動き 〕

今後1か月を4段階に分けてグリーンゾーンを広げていく

- (1) 第1段階（6月第1週）
 - ・ 2階フロアの厳密なゾーニングを実施
 - ・ 2階を東西に分離し、PCR陽性の入所者全員を西側に移動。
 - ・ 東側のクリーニングを実施
 - ・ 各ゾーン別担当職員は専従
- (2) 第2段階（6月第2週）
 - ・ 1階にいる濃厚接触者を2階東側居室へ移動
 - ・ 1階フロア全体のクリーニング実施
 - ・ 各ゾーン別担当職員は専従
- (3) 第3段階（6月第3・4週）
 - ・ 2度陰性確認された寛解した入所者を順次1階グリーンゾーンへ移動
 - ・ 各ゾーン別担当職員は専従
- (4) 第4段階（6月末）
 - ・ 2階西側の2度陰性が確認された入所者全員が移動した段階で2階西側をクリーニング
 - ・ 2階東側の濃厚接触者は、この段階で感染性は極めて低いと判断され、グリーンゾーンとなった2階西側へ移動し、東側のクリーニングを実施。
 - ・ 以上の工程をもって全館グリーンゾーンとなる



※これらの時期は現段階での目安です。随時必要な見直しを行っていきます。

※5月下旬に開設した「すずらん」では一時的に現在2度陰性になった方の健康観察を行っています。今後は「すずらん」もしくは「茨戸アカシアハイツ」の1階グリーンゾーンにて健康観察をします。また、「すずらん」は時期、状況を見て閉館します。

4 長期的な法人としての取り組み

(1) 感染症の防止対策

施設の復興に当たっては、札幌市の指導も受けながら、感染症防止対策を強化してまいります。

- ① 専門家のご意見を踏まえた感染対策マニュアルの見直し、修正、追加
- ② 職員研修の徹底
- ③ 施設内の備品常備、衛生管理 など

(2) 職員確保について

復興後の施設運営に従事する職員（医師1名、看護師14名、介護士25名）は、職員の復帰や採用により必要数を確保します。

医師については、茨戸アカシアハイツ施設長兼医師1名がグリーンゾーンにて復帰予定であり、そのバックアップとして非常勤医師にも診療を委託します。